

日常生活 自立支援事業

(福祉サービス利用援助事業)

公共料金の支払いや書類の手続き、日常の金銭の管理など日常生活でのお困りごとはありませんか？ 高齢の方や障害のある方が安心して生活できるよう、生活支援員が訪問してお手伝いをします。

印鑑をどこにしまったのか思い出せない
公共料金、払ったかな？
定期貯金の解約したいんだけど…

何の書類かさっぱり…
どう手続きすればいいのやら…

- お手伝いの一例 プライバシーは必ず守ります
 - 日常的な金銭や通帳印鑑の管理
 - 福祉サービスの利用のお手伝い
 - 公共料金の支払いや手続き
 - 書類の手続き など
- ご利用料金(一例)
 - 相談や「支援計画」作成までは無料
 - 「支援計画」に基づいて行うサービス 1時間1000円 ほか
 - はんこ、通帳、書類などの保管料 月額250円(年間3,000円)

*サービス提供に必要な移動費実費 別途負担

【お問合せ・お申込み】
大山崎町社会福祉協議会 ☎ 957-4100

支援開始までの手順

- 1 社会福祉協議会に相談
- 2 専門員による訪問・面接
- 3 支援計画を作成し、契約を締結
- 4 生活支援員による支援開始

ZOOM お話会!

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、人とつながるツールとしてビデオ会議アプリ「zoom」を使ってzoom体験会を開いてきました。

今年から、偶数月の第3木曜日19時より「zoomお話会!」を開催。2月には、「大山崎町地域包括支援センター 濱田センター長」をゲストにお招きし、介護保険の申請の仕方や地域包括支援センターの業務内容などについて話をしました。

4月は、認知症をテーマにお話していきます。お申込みは、右記QRコードから➡

参加者全員の顔が見えて話もスムーズ

慣れれば、楽しそう。ん？なんか記者会見会場みたいね？
後ろの壁紙じゃる？会長の手作りらしいよ

■お申込み・お問合せ先 大山崎町社会福祉協議会 ☎ 957-4100

ご家庭で眠る 食品大募集!

日本では年間約1700万トンの食品が廃棄され、その中にはまだ食べられるのに捨てられてしまう食品が500~800万トンもあると言われています。

ご家庭で不要な食品があればぜひ、ご寄贈ください。いただいた食品は、「フードバンク大山崎」が対象者の方や福祉関連施設へお配りします。皆様のご協力をお願い致します。

年間1700万t 食品ロス 事業所+家庭 500~800t

ご寄贈の前に

- ・常温保存が可能なもの
- ・未開封のもの
- ・破損で中身が出ていないもの
- ・賞味期限が明記され、かつ2か月以上あるもの
- ・アルコール類は不可

お酒はだめだってば!

■お問合せ・受付先 大山崎町社会福祉協議会 ☎ 957-4100

デイサービスなごみの郷利用者に聞く! 健康・長寿の秘けつとは?

このままではダメだー!

最近、お腹が出てきたことを気にしている。このままではダメだと感じ、一念発起し利用者に健康法を伝授してもらうことに。

インタビューー 生活相談員 沼田

利用者Bさん 昭和3年生まれ。にぎやかなことが大好きで、いつも明るい「ひまわり」のような人。ご自宅で書道教室を開いていたこともある。教え子とは今も交流がある。絵を描くことが趣味。

いつもお元気をなごみの郷でお見かけしますが、普段取り組んでいる健康法を教えてください

毎日、早寝早起きをしています。決まった時間にご飯を食べること、バランスの良い食事を摂ることを心がけています。転倒しないように慌てずゆっくり動くようにしています。転倒予防として、なごみの郷で教えてもらった体操はイスに座りながらできるので気楽にできています

規則正しい生活をされているんですね。ついつい私は暴飲暴食をしがちなので、生活態度を見直したいと思います。現在、92歳ということですが、ずばり長寿の秘けつを教えてください

どんな時も人生を前向きに考えることです。また、自分でできることは、できるだけ自分の力で頑張るという気持ちが大切だと感じています

気持ちの部分も大切ということですね! Bさんにとって、なごみの郷とはどんなところですか?

家庭的な雰囲気が好きです。同じような年代の方が来られているので、私も頑張らなければと良い刺激を受けています

ありがとうございました。これからもお元気でいてください

地域包括支援センターって??

高齢者の身近な窓口です。いつまでも住み慣れた地域で生活できるように介護・福祉・健康・医療など、さまざまな相談に専門スタッフ(社会福祉士・保健師・主任介護支援専門員)が総合的に対応します。また、高齢者が暮らしやすい地域づくり、関係機関や住民の方やボランティアと共に話し合い(例えば地域ケア会議など)をやっています!

あなたのその相談、専門スタッフが支援!

そろそろ介護保険申請したい
介護の世話にならない体になりたい
家族が認知症かも…

介護サービスって?
専門スタッフ
ケアマネジャーってどこにいる?

高齢者が暮らしやすい地域づくり

大山崎町地域包括支援センター (大山崎町社協内) ☎952-6533

社会福祉士・保健師・主任介護支援専門員

お気軽に相談ください。お待ちしています。

ボランティア・住民

くらしをサポートできないかな?
健康づくりの体操と会話ができればなあ

くらし助け愛サポーター
ラジオ体操!

社協だより

第111号
2021年4月1日発行
大山崎町社会福祉協議会

大山崎町社会福祉協議会
京都府乙訓郡大山崎町
字円明寺小字百々10番地2
福祉センターなごみの郷内
☎ 075-957-4100
075-954-4400

大山崎町社会福祉協議会の最新情報が手に入る! LINEの登録はこちらから

シトラスリボンプロジェクト

シトラスリボンプロジェクトとは、コロナ禍で生まれた差別や偏見を耳にした愛媛県の有志の方々から生まれたプロジェクトです。

愛媛特産の柑橘にちなんだシトラス色のリボンで「ただいま」「おかえり」を表し、普段の暮らしに笑顔を取り戻す活動です。

リボンやロゴで表現する3つの輪は、「地域」と「家庭」と「職場(学校)」をあらわしています。シトラスリボンをあしらったものを身につけたり、掲示したりすることで、感染が確認された方々や、医療に従事する方々がそれぞれの暮らしの場で「ただいま」「おかえり」と心から言い合える町でありますように。そんな想いをここ大山崎町からも発信しませんか?

Citrus Ribbon PROJECT

♡ハートの町に♡ ただいま おかえり みんなで広げよう

大山崎町社会福祉協議会では

この活動に賛同し、作成したシトラスリボンを職員の名札につけたり、デイサービスなごみの郷の利用者や町内の福祉施設へチラシとともに配布するなどの活動を行っています。プロジェクトに賛同される方は、ご自身で作成されたシトラスリボンを身につけたり、玄関などにロゴを掲示するなど、ご自由に参加していただければ嬉しく思います。

また、福祉センターなごみの郷の玄関にシトラスリボンボードを設置しました。ご家庭などで作られたシトラスリボンをぜひ飾りに来ませんか。

私が作ったリボンも飾ろう

私協の玄関にシトラスリボンボード

福祉センターなごみの郷 来訪の際のお願い
玄関口での検温・手洗い・消毒にご協力ください。また、会館使用時には、検温・連絡先をご記入していただきます。使用後は、消毒をお願いいたします。

大山崎町社協は、シトラスリボンプロジェクトに賛同しています。